

# MONTHLY-J

マンスリーJ

## 6・7 月合併号

2010 JUNE・JULY

# 第5期体制が発足 普及を加速する2010年に

2010年6月22日、日本GAP協会の第5期通常総会が行われ新体制が発足しました。理事長に和郷園の木内博一氏、副理事長に三菱商事アグリサービスの上杉登氏とイオンの藤井滋生氏が就任しました。



理事長  
**木内博一** (きうち・ひろかず)

農事組合法人和郷園 代表理事  
1967年千葉県生まれ。農水省農業者大学  
校卒業後、就農。93年(有)さかき農産設立。  
96年(有)和郷設立。98年農事組合法人和郷  
園設立。2005年(株)和郷に組織変更、代表取  
締役に就任。

と  
思  
い  
ま  
す。

これだけ各界のプロフェッショナルが集まっているわけですから、新しい成長ある農業、そして世界に勝てる日本農業の基準を、日本GAP協会から発信できると思っています。皆さまのご協力をお願いするとともに、私自身、全力で頑張っていきたいと思っています。

に加速させたいと考えております。

GAPはいわば農業版ISOであり、良い農業をするための基準です。同時にそれは農業生産者、流通や小売そして消費者が一体となって取り組むべきものです。その基礎を創られた高橋理事長には、本当に感謝しております。私は高橋理事長が残してくれたものを生かし、皆さまのお力も借りながら、この2年間でJGAPの普及を急激に加速させたいと考えております。

条件に、私もこの大役を引き受けました。

前任の高橋理事長が2年間しつかり基礎固めをされた結果、これだけ多くの方々が参加する協会に育ちました。理事会も20名に拡大して、農業・流通・小売の各界のプロフェッショナルが、日本の統一的な基準JGAPを社会にしつかり広め、確たるプラットフォームを提供するべく集まっておられます。皆様のご協力を得られることを

第5期理事長  
木内博一

日本農業の統一的基準JGAPを広め、  
確たるプラットフォームを提供したい